

グラジオラス

森本眞智子

梅雨の只中に咲くグラジオラスよ
己の重さにたわみながら
すでに下の方から老い始めたあなたよ

一弁一弁に おもいのたけをこめて
花が花である時を
のぼりつめてゆけ

縞模様に風が吹き そして
決して戻れない

花たちの短い旅路

さまざま生き方をしてみたいと願いながら
たつた一つの生き方からも
抜け出せないでいる

古い日記を閉じよ

老いた花びらを閉じよ
すぎ去ったものたちへの
執着を止めよ

物憂い季節

あらゆる記憶を閉じ込めたまま
厚い雨雲の下
散ることを忘れたあなたが
途方にくれている